

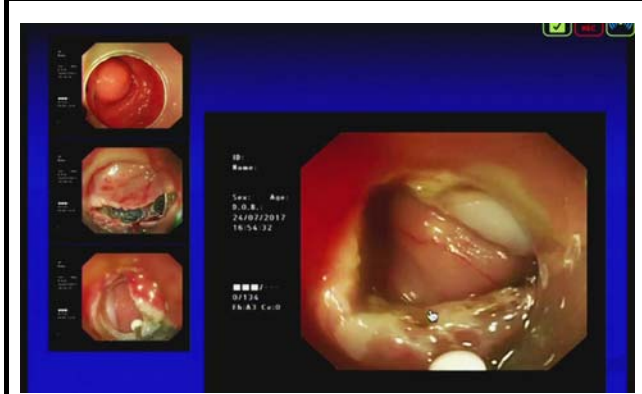
<p>【イベント名】 第44回 APAN 会議 AIG</p>	<p>【概要】 Third space endoscopyは最近開発された技術であり、内視鏡医は腸壁に関連した治療を行うことができる。サードスペースは粘膜と筋層の間の潜在空隙であり、粘膜下の疎な組織を剥離、拡張することで生じる。現在ではthird space endoscopyを用いることで、アカラシアやその他の食道痙攣性疾患を含む様々な疾患を内視鏡で治療することができる。</p>
<p>【期日】 2017.08.31</p>	
<p>【会場】 大連国際金融会議センター（中国）、アジア消化器センター（インド）、ユナイテッド シグマ病院（インド）、ディーナナス・マンゲッシュカー病院（インド）、ロイヤル・プリンス・アルフレッド・ホスピタル（オーストラリア）、マヒドン大学シリラ病院（タイ）、復旦大学中山病院（中国）</p>	



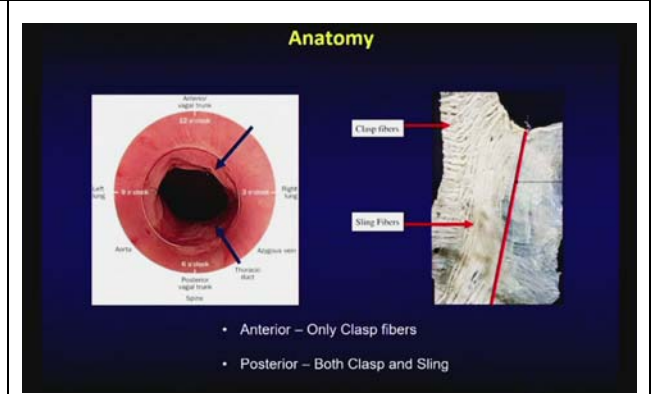
オーガナイザーを務めるDr. Mohan（右）。  
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される接続施設。  
撮影場所：九州大学病院



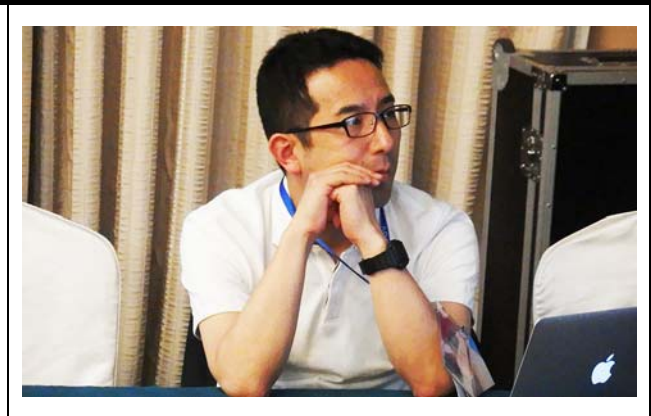
提示された内視鏡動画。  
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。  
撮影場所：九州大学病院



副座長を務めるDr. Takalkar（右）。  
撮影場所：九州大学病院



メイン会場でモデレーターを務めるDr. 森山。  
撮影場所：大連国際金融会議センター